

戦後の長工野球部



昭和24年工業化学卒 高瀬 助松

学校は長崎より大村市へ移転、他の中学より後れて野球部ができました。軍隊の養成所があった所で、広い荒れたグラウンドでした。野球をやるための整備に時間がかかり大変な苦勞をしました。

部員のほとんどが長崎に住んでいるため、汽車通学で2時間もかかるので練習する時間が無い、そのため夕方遅くまで頑張って他の中学に負けないように練習を頑張りました。

その結果昭和23年夏の第29回全国大会長崎大会に出場、初出場でしたが他の中学を問題とせず優勝しました。長崎代表として北九州大会（福岡県4校、佐賀県2校、長崎県2校）に出場。福岡県香椎球場での1回戦は福岡工業と対戦し、4対2で勝利しましたが、2回戦は佐賀代表に負けました。この大会では福岡県代表の小倉中学が優勝、甲子園の全国大会でも優勝し、初めて九州へ優勝旗を持ち帰りました。

またこの年の秋から九州大会が始まり、長工も長崎代表として出場しましたが鹿児島に0-5で敗退、ちなみに優勝校は小倉中学でした。

当時のエースとして頑張った山口幹夫君は卒業と同時に西鉄ライオンズに入団、長工から初めてのプロ野球選手となりました。

最後にぜひ甲子園に長工出場を期待しています。

※ 当時は中学（学制改革により長崎工業高校）

※ 野球部の沿革もご参照ください [1947\(昭和22年\)-1956\(昭和31年\)対戦成績](#)